

# どうしがやフレーザーパーク通信 2020.10.24

◇日時：2020年10月24（土）

午前10時30分～午後3時

◇天気：晴れ

◇場所：豊島区立雑司が谷公園

（芝生広場～どんぐりの森～噴水広場）

◇参加：90人程度

◇スタッフ：早川、浜野、佐分

◇お手伝い：坂田さん（コマ・けん玉）

◇来訪者：（豊島区社会福祉協議会）三枝さん・熊谷さん



◇企画：木工遊び、段ボール工作

◇みられた遊び：段ボール工作、木工、坂すべり、チョークあそび、シャボン玉、竹とんぼ、ペーゴマ・コマ・けん玉、楽器あそび（タライをたたいて楽器に）、ティピー、布あそび

◇簡単報告：

◆段ボール遊び、木工遊びの素材を用意。木工では、木材を切るのはスタッフがを行い、子どもたちは木片を使って、ボンドを使って組み立てたり、やすり掛けをしたりした。物を作るとき子どもたちは本当に楽しそうだった。組み立てたものを持ち帰る子もいた。

◆シャボン玉の位置を、午前中は通路脇、午後からは噴水と通路の間の散水栓の脇に変更した。散水栓脇は手も洗いやすく、芝生にシャボン液も掛かりにくく良い。噴水の真ん中よりは、滑る子も減った。噴水の排水溝の上は滑るので、今回は、散水栓に近い排水溝の上に滑り止めシートを置いて様子を見ることに。

シャボン玉液のレシピを書いて脇に置き、来訪者が自由に液を作れるようにした。

◆木の棒をガムテープで張り合わせハンマーを作り振り回し、壊れて幼児の背中に当たった。幸い怪我はなかった。危険のあるもの（剣とか）を作っている子や、混みあった所で長い物を振り回している子がいたら、広い場所でするよう声掛けするなど、スタッフがよく見守る必要がある。

◆保護者から、段ボールカッターが出しっぱなしだったり、小さい子が持って走り回ったりしていて危ないのでは何かいい方法はないかと相談あり。ちょうどスタッフでも、道具を使えばなしで、もとに戻す子がすくないことが気になっていたため、急遽看板を作り、道具置き場がはっきり分かるようにしてみた。さっそくの対応に、当該保護者の方からも御礼の言葉を頂き、色々とおみなでいい方法を考えていきたいですねと、話した。

◆スタッフ3人だったこともあり、片付けるのに前回よりも時間がかかった。子どもたちもよく手伝ってくれた。手を貸してくれる来訪者が徐々に増えるとよい。来訪者の数が減る前に、片付けの声をかけ始めるとよいかもしれない。

◇次回（10月25日）に向けて：

◆準備するもの：転がすもの。滑り止めシート。

シャボン用洗剤、洗濯のりは残り少ないが、今回は残りで対応し、11月に買うことに。

